



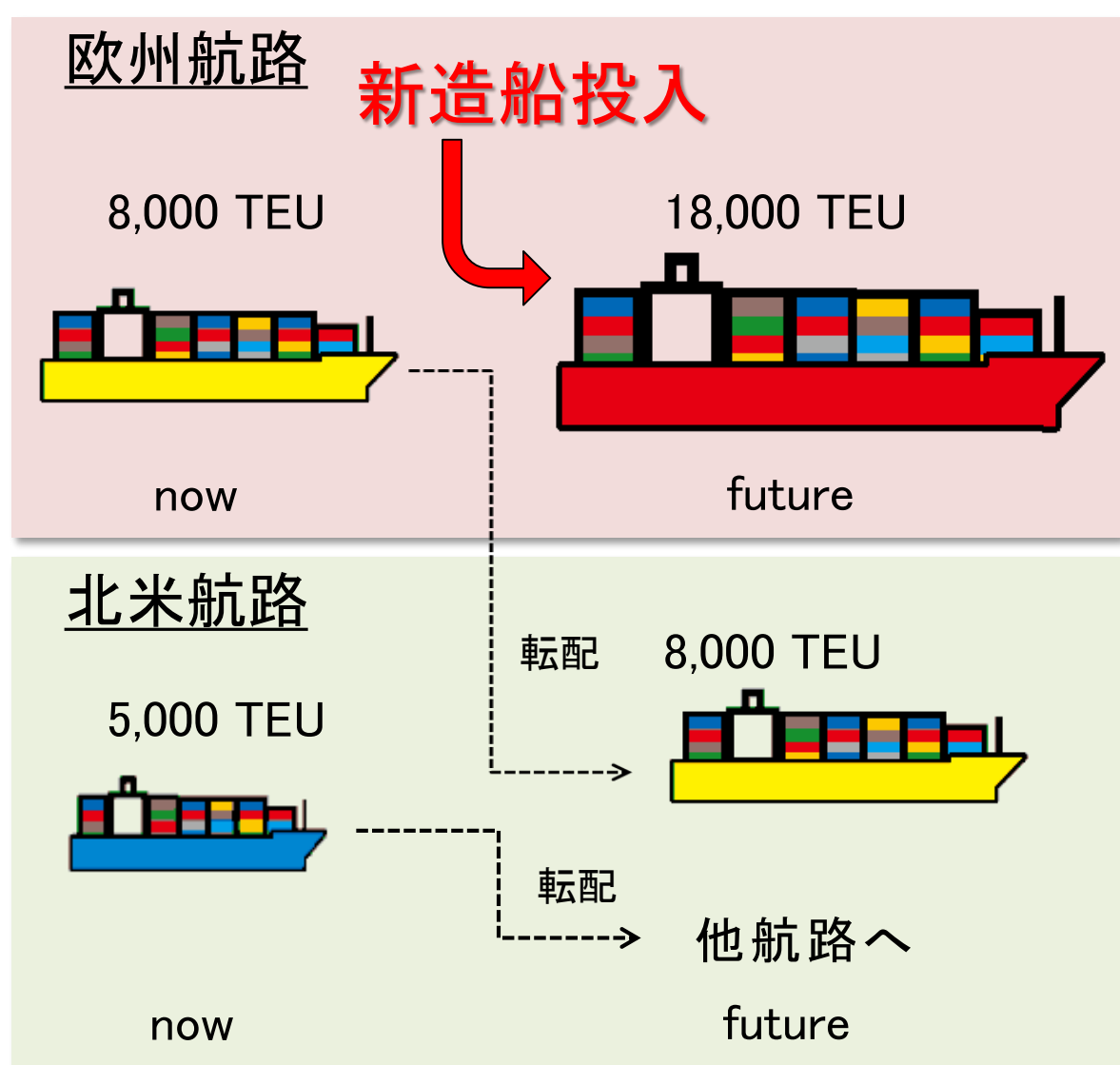
国際海上コンテナターミナル整備事業 (神戸港六甲アイランド地区、大阪港北港南地区)

グローバル経済で勝てる物流ネットワークへ強化

現在 now

将来 future

インフラ



- 水深-16mに増深
- 耐震強化岸壁の整備
- ガントリークレーンの設置

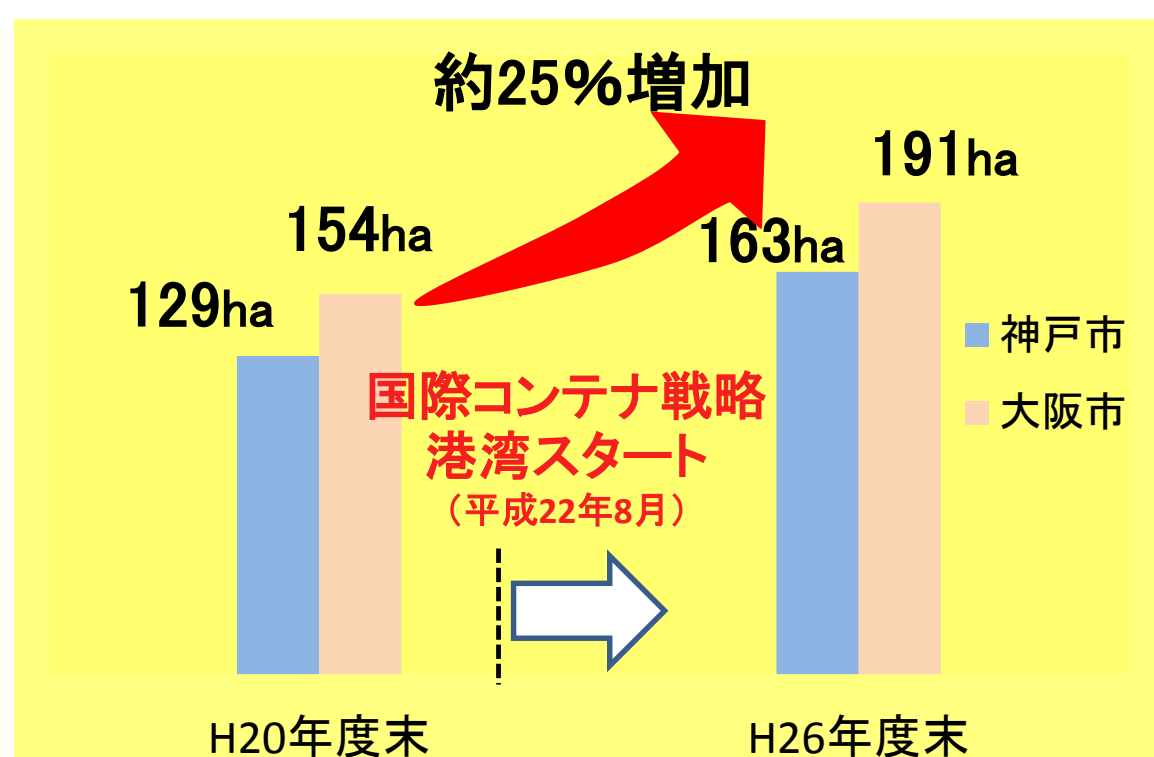
コンテナターミナルの拡張により
海上物流が効率化

国内大手流通会社

阪神港の物流機能が強化される。
地場産業から先端産業まで幅広い
業種を有する西日本経済の一層
の発展に期待

地域

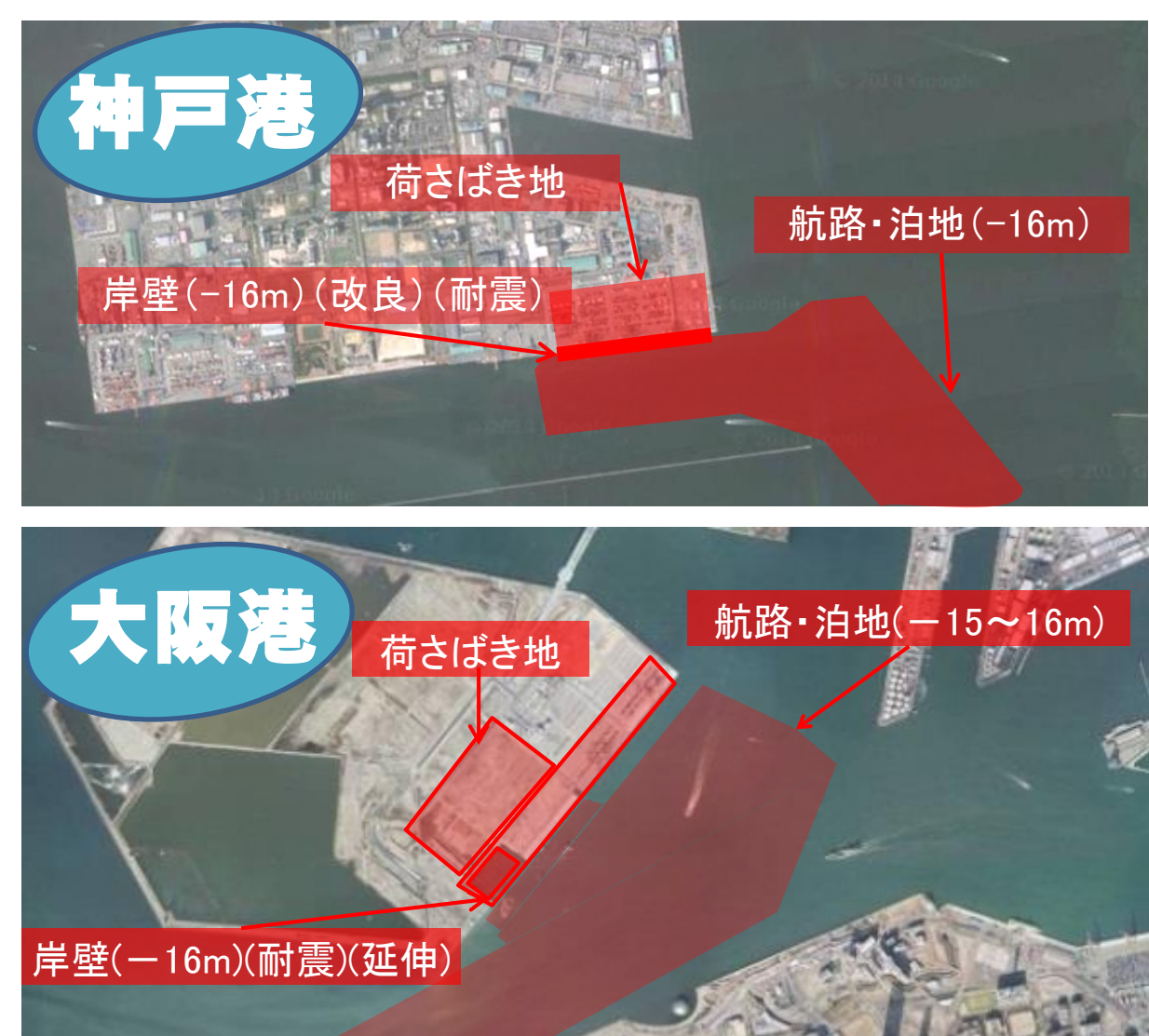
阪神地区における物流施設面積の推移



臨海部において
大型物流施設の集積が進展

神戸港に大型物流施設を立地した企業

世界へダイレクト輸出ができる
神戸港(国際コンテナ戦略港湾)に
部品供給拠点を移すことで、デリ
バリータイムの短縮につながる



平成28年以降操業開始する主な物流施設

日本物流株式会社(大阪港 北港北地区(舞洲))



- ・操業開始:平成28年4月
- ・敷地面積:24,700㎡
- ・投資金額:約72億円

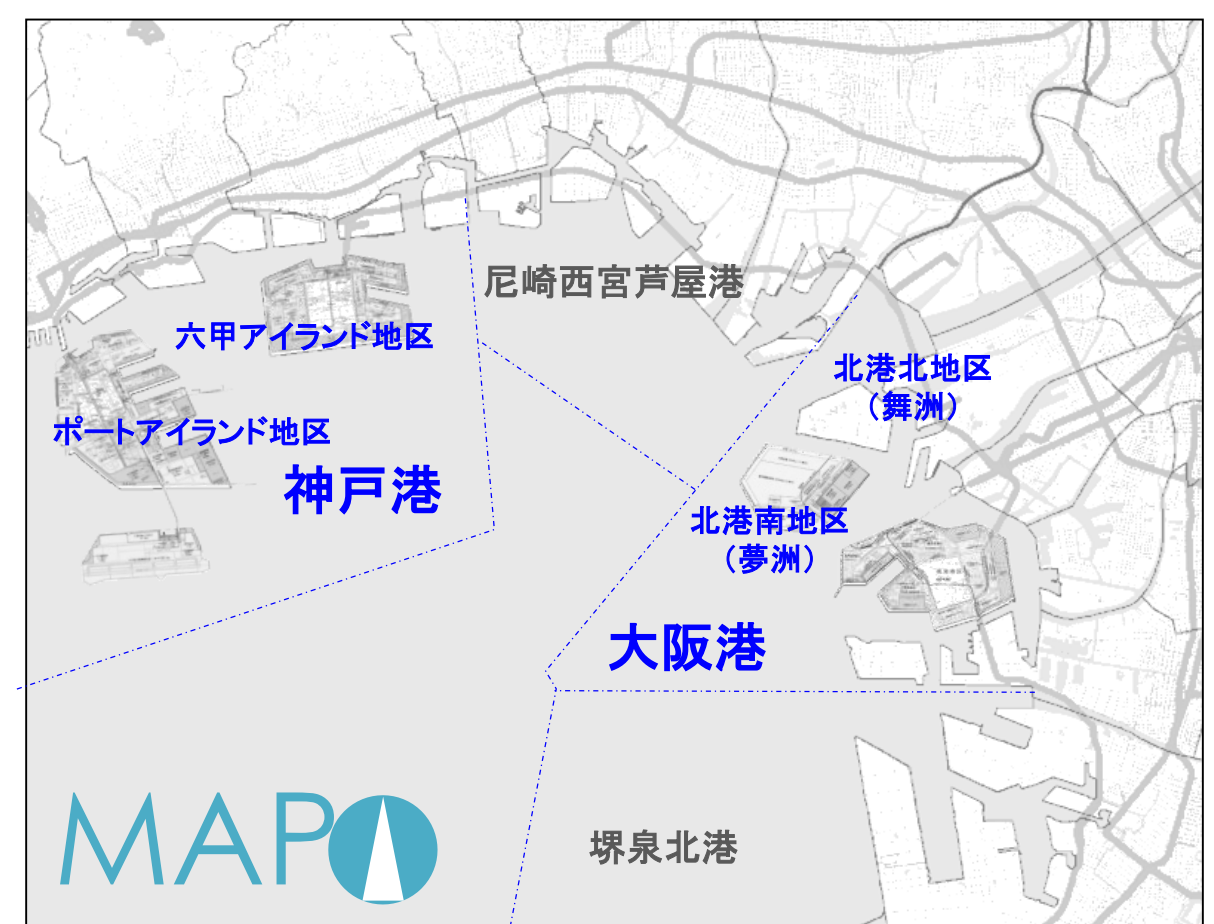
川西倉庫株式会社(神戸港 六甲アイランド地区)



- ・操業開始:平成28年度内
- ・敷地面積:約10,000㎡
- ・総事業費:約10億円

平成28年度供用予定
(※整備中の岸壁)

平成28年度から順次操業



- 経済のグローバル化に伴いコンテナ船の大型化が進展
- 大型船に対応した耐震強化岸壁の整備により、地震等の災害時における事業継続の優位性を評価した**企業の立地が促進**
- 国際海上コンテナターミナルの発展を見据え、阪神港周辺の臨海部に民間投資による物流施設の集積が進展し、**一大物流拠点を形成**